

市長提出議案に対する 討 論

9月29日の本会議で、各会派が次のとおり討論を行いました。採決の結果、賛成多数で認定しました。

第69号 令和6年度調布市 一般会計歳入歳出決算

反 対Ⅱれいわネット・にじいろの会

市民生活支援事業に基金充当が散見。財源意識し事業精査を。給食費無償化は市立校に通う子ども対象。就学援助受給世帯で子ども不登校の家庭は昼食代負担。後期高齢者の2割が物価高騰で困っており、後期高齢者医療保険料の引上げは冷たい対応。校舎の多くが無断熱でトイレもひどいが現状把握や計画性ない。黒字割合7%で、適正とされる3〜5%超えている。実態把握せず必要な支出抑制されている。市民生活実態調査し支援策練り、公共施設マネジメント計画は市民参加で見直し、校舎更新基金設立を。HPVワクチンのリスク示さず男性に任意接種推奨は容認できない。委員会等の職員の女性割合18%に低下。意思決定に関わるポストに男性偏る。

賛 成Ⅱチャレンジ調布

基本計画に位置つけた各施策、事業を中心に低所得者世帯や子育て世帯等への各種給付金支給、市内事業者支援など市民生活支援の継続的取組を評価。市税収入は堅調な推移を確認。都内初となるトイレカー導入を評価。市民防災意識の向上に有効活用を。児童手当の制度拡充、ひとり親支援等への積極的な取組を評価。児童館や小中学校老朽化の問題を指摘。若者の活動支援や情報発信はより充実を。科学センター事業は質・量の拡充を。物価高騰対策では国の制度に加え市独自の給付を評価。駅前広場完成目前、ルール見直しを。東部地区交通環境の改善を。財政の健全性維持に留意しつつ、市民の安全安心の確保と市民生活支援の適時適切な取組に期待。

賛 成Ⅱ公明党

6年度は、物価高騰対策として国の施策に加え、市独自の市民生活支援を評価。市税収入では、前年度比約6億円の増収と堅調に推移。一方、ふるさと納税による減収影響が年々拡大。創意工夫による歳入確保を要望。闇バイト対策への啓発活動を要望。都内初の災害用トイレカー導入を評価。避難行動要支援者への避難体制整備を要望。市立小中学校給食費の無償化、スクールソーシャルワーカー全校配置を高く評価。アレルギー対策では、事故を風化させない取組を。男性へのHPVワクチン接種費用助成、ウィッグ等購入費助成、母子健康手帳アプリの導入、産後ケア事業拡充を評価。調布駅前広場では、自転車利用者や歩行者の安全確保の取組を。

賛 成Ⅱ自民党新政会

法人市民税の増額等で市税収入は堅調に推移。ふるさと納税による減収拡大には市の魅力発信となる返礼品に期待。公共施設マネジメントの取組等、大きな財政需要に備えた基金の充実などを評価。物価高騰に伴う市民生活支援、市内事業者支援を評価。防災対策では、風水害や地震への継続的な対応強化を評価。フェーズフリーの考え方の周知、啓発の取組を要望。子ども・教育施策では、学校給食費の無償化や物価高騰の長期化対策等を評価。修学旅行や英語の体験型学習への支援を要望。市民プールの在り方検討と合わせ、学校プールの在り方検討にも期待。東部地域の京王線連続立体交差事業では、市が主体となることも視野に協議を要望。

賛 成Ⅱ日本共産党

6年度は計7回の補正により最終予算額は約1千154億円で前年度比約9億円増。決算の歳入歳出額は1千億円超え。日本共

産党は学校給食費無償化に踏み出したこと、その他新規50事業、拡充60事業を評価し予算に賛成。健全な財政力を市民の暮らしを支える施策にどう活用するのかが今一番問われている。長引く物価高騰、経済の長期停滞、失われた30年がもたらした暮らしの困難により市民生活は厳しさを増している。市民生活支援を第一の責務とする市の福祉的役割は緊急課題。ケースワーカーの増員、低所得者の命を守る経済的支援や暑さ対策の拡充を。国や都の方針に従うだけでなく、様々な負担増から市民を守る基礎自治体の役割を果たすべき。

賛 成Ⅱ日本維新の会

ふるさと納税制度による減収額は約15億円となり深刻。都と連携して、国に対して制度の抜本的な見直しを求めていくことを要望。公共施設マネジメント計画の見直しと組織体制整備を。西調布体育館機能移転の基本構想策定を評価。学校給食費の無償化を評価。学校トイレは全市的な施策として、短期間で大規模改修を実施すべき。男性へのHPVワクチンの任意接種費用助成は重要な支援策。今後は9価ワクチンも助成対象に。あそびバの未就学児体験会を評価。デマンド型交通は利用者が限定され、事業継続は困難。自動運転技術の早期の実証実験開始を要望。西町公園の駐車場の利用方法が周知されておらず、利用されていないため早期改善を。

賛 成Ⅱ自由民主党

基本計画2年次目として各事業の着実な推進と、物価高騰への対応としての市民生活・地域経済支援の取組を評価。実質収支約39億円と堅調。今後も安定的な税収確保のため、各地域のまちづくりの積極的推進を要望。ふるさと納税で近藤勇関連の体験型返礼を。調布駅前広場の完

成に向け着実な整備とソフト面で魅力ある広場づくりを期待。都市計画道路3・4・31号線の都市計画変更は評価、早期事業化に向け更なるスピードアップを要望。西調布周辺まちづくりは将来イメージの共有を。西調布体育館機能移転は引き続き調布中学校関係者や地域・利用者との意見交換・情報共有を要望。今後も計画に基づくまちづくりの着実な推進を要望し、認定。

賛 成Ⅱ立憲民主党

現在の社会情勢や今後の財政需要を見通した財政運営に努めたことや、長期化する物価高騰に対し7回の補正予算を編成し、市民や市内事業者への最大限の支援に取り組んだことを評価。市立小中学校給食費の無償化の実現や校内別室指導支援員の配置を評価。教員がより一層児童・生徒への指導等に注力できる体制整備、教員の負担軽減と働き方改革の取組を要望。「ディセントリーまなびや国領」と「ワイフライフカレッジすとか」の開設で障害者の生活支援、就労支援の充実を評価。デフリンピックの開催を契機とした共生社会の充実に期待。被爆地長崎へのピースメッセージャー派遣の取組を評価。平和教育の充実に向けた取組を要望。

賛 成Ⅱ調布ミライ政策会議

歳入は定額減税の影響で個人市民税が減少、法人市民税は増加で堅調。ほぼ1社が占めており、また、今後も物価高、燃料費高騰のため、樂觀視はできない。歳出は重点プロジェクトを基軸にしておおむね適正に執行。都市インフラの整備として緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業、大規模ポンプ施設の基本設計を評価。事業の加速を要望。中学校部活の地域連携・地域移行の推進を評価。地域包括支援センターの現場の人員確保は課

題。ゲゲゲ忌の定着を評価。公共施設46施設の再生可能エネルギー100%を評価。深大寺・佐須の保全活用に関しては協議会立ち上げを要望。市債の残高は改善。25年問題に当たり、厳に歳入歳出のシミュレーション必要。

賛 成Ⅱ次世代・調布

6年度決算は総額約1千138億円となり、歳入歳出ともに前年度比増加。市税収入は法人・固定資産税の増収により約6億円増加し、地域経済の回復が反映。一方、ふるさと納税による減収は約15億円と深刻であり創意工夫による対策強化を要望。クラウドファンディングの活用は評価。ネーミングライツなど新たな歳入確保策を要望。物価高騰への市独自支援、公共施設更新子育て・障害者・健康施策の充実は評価。給食費無償化や手話言語条例の制定、ワフチン助成などは市民の安心と将来への投資として評価。7回に及ぶ補正予算も柔軟な対応として肯定的に受け止め、総じて健全な財政運営と施策展開を確認。今後も課題解決に向けた取組を期待。

第73号 令和6年度 調布市後期高齢者医療 特別会計歳入歳出決算

反 対Ⅱ日本共産党

後期高齢者医療制度は、導入以降保険料が値上げされ続けてきた。6年度も大幅値上げとなり、多くの後期高齢者の負担が増えている。要因の一つに出生育児一時金拡充への負担。高齢者の医療費が高くなるのは当然。負担率を低くして初めて現役世代と公平になる。世代間対立を、および高齢者の負担増を強いる

制度改定は容認できない。

賛 成Ⅱチャレンジ調布

6年度は全ての団塊世代が後期高齢者に移行したことによる被保険者数の増を要因として歳入歳出ともに増加。一方、本制度は財源の約4割が現役世代の支援金で賄われており、高齢者にも応分の負担を求めるもの。加入者の負担は増すが、激変緩和措置や保険料軽減策も継続され最大限配慮した内容と受け止めた。制度の安定的運営を要望。

反 対Ⅱれいわネット・にじいろの会

後期高齢者医療の保険料は2年ごとに値上げされ、6年度も値上げとなった。医療費の負担増や、それによる受診控えなど後期高齢者の負担は増す一方である。このような生活状況に更なる値上げは認められない。市民の暮らしを第一に守るべきである基礎自治体として、国や都などに高齢者の保険料の負担軽減を要望することを求める。

賛 成Ⅱ日本維新の会

市の後期高齢者医療制度加入者割合は年々増加。保険料改定では、激変緩和措置により低所得者の保険料率の引上げが抑えられたほか、都道府県全体の平均保険料率を下回っている。保険給付の財源のうち被保険者の保険料負担が1割に対して、現役世代が加入する健康保険から約4割を支援していることから、高齢者にも応分の負担が必要。

賛 成Ⅱ次世代・調布

高齢者人口の増加に伴う医療費の増加に対応し、制度の持続可能性を確保するため、応分の負担を求める保険料改定はやむを得ない。財源の約4割は現役世代の支援金によって賄われており、後期高齢者にも一定の負担を求めることは不可避。低所得者への配慮もされている。今後も都広域連合と連携し制度の安定的運営に努めるよう要望。

